

高齢化社会とアフターコロナの ニューノーマルに活用される ラストワンマイルモビリティー 自動運転技術の実例紹介

内藤 淳平(Naito, Junpei)

WHILL 株式会社 共同創業者・最高開発責任者

【要旨】

高齢化社会の到来に伴い、近距離の移動に関する課題解決が求められている。特にラストワンマイル(約 1km)程度の近距離に対し移動を助けるモビリティのニーズが高まっている。本講演では、WHILL 社が提供している、Personal mobility を活用した、ラストワンマイルの課題解決の紹介を行う。ラストワンマイルの改善については商品・サービスによるプラットフォームの構築が必要になるが、特にアフターコロナを見据えた、自動運転技術を中心に紹介を行う。世界初の導入となった羽田空港での自動運転技術の実例を紹介するとともに、それがどのようにコロナ禍で価値を生み出したか、またアフターコロナでもどのような価値を提供できるかを説明する。